

## ギニア月報(2019年8月)

主な出来事

### 【内政】

- 5日、独立選挙委員会(CENI)は、CENIが選出するもしくはCENI自身が選挙人名簿を確認することを提案。野党は拒否。

### 【外政】

- 28—30日、コンデ大統領が、第7回アフリカ開発会議(TICAD7)出席。28日、安倍内閣総理大臣と日・ギニア首脳会談を実施。

### 【経済(経済協力含む)】

- 16—23日、統一通貨導入に向けて、西アフリカ通貨圏(WAMZ/ZMAO)と西アフリカ通貨機関(WAMA/AMAO)の会議がコナクリで開催。

## 1 内政

- ・ 5日、独立選挙委員会(CENI)は、CENIが選出するもしくはCENI自身が選挙人名簿を確認することを提案。野党は拒否。当初は国際機関(OIF 及び UNDP)が選挙人名簿を確認する予定だった。
- ・ 9日、国民議会(臨時国会)が開会。14日、ディウバテ予算大臣が修正予算法を提出、24日、国民議会で承認。
- ・ 21日、トゥーレ外相は、ギニア共和国の正式名称はRépublique de Guinée であり、Guinée-Conakry を使用しないようにマスコミ各社へ呼びかけ。

## 2 外政

- ・ 1—3日、コヴィンド・インド大統領が当地を訪問し、ギニアへ総額2.51億ドルの支援を表明。コナクリ市と飲料水供給に関する1.7億ドルの借款契約の署名。コナクリ、カンカン、キンディア、ラベにおける病院建設を予定。ギニアはインドの国連安保理の非常任理事国(2020—2021)に立候補することを支持、当地にインド大使館が新設される予定。
- ・ 8日、カボレ・ブルキナファソ大統領が当地を訪問。コンデ大統領とコナクリ市内運動場(Bluezone de Kaloum)とコナクリ自治港を視察。テロとの戦いへの協力(国境管理協力)やブルキナファソによるコナクリ港の使用を許可。
- ・ 11日、コンデ大統領はブハリ・ナイジェリア大統領の招待により(私的に)ナイジェリアを訪問、ブハリ大統領の故郷の村で羊犠牲祭を祝福。
- ・ 15日、コンデ大統領は、フランスのマクロン大統領の招待に応じ、ウワタラ・コートジボアール大統領と共に、南仏で開催された75周年上陸作戦記念式典に参加。
- ・ 28—30日、コンデ大統領が、第7回アフリカ開発会議(TICAD7)出席。28日、安倍内閣総理大臣と日・ギニア首脳会談を実施。

### 3 経済(経済協力含む)

- ・ 3日、コンデ大統領は、鉱山からの歳入のうち15%を地方自治体の開発資金に当てると決定。運用する自治体財政支援庁(ANAFIC)の理事会会長によると、各州は今年度の地方自治体の追加予算として13億ギニアフランを獲得した。
- ・ 16—23日、統一通貨導入に向けて西アフリカ通貨圏(WAMZ/ZMAO)と西アフリカ通貨機関(WAMA/AMAO)の会議がコナクリで開催。西アフリカ通貨圏は、ギニア、ガンビア、ガーナ、ナイジェリア、リベリア、シエラレオネで構成。なお、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)は、6月29日に域内の共通通貨として「ECO」の導入を決定し、2020年の導入を目指している。
- ・ 22日、中央銀行は、500ギニアフラン札のデザインを一新すると発表。
- ・ 23日、バルデ高等教育・研究大臣が、今秋中国へ派遣する国費留学生86名のための壮行会に出席。
- ・ 26日、SMB社(ボケ鉱山会社)が、コナクリ市のガマル・アブドゥル=ナセル大学内の孔子学院で、中国語と中国文化を学ぶため従業員30名へ奨学金を供与。
- ・ 26日、シラエエネルギー大臣とソンパレ情報・広報大臣が、中国企業CWE社が建設中のスワプティ・ダム(Souapti)を視察。同ダムの貯水量は6億3,000万トン、工事進捗率は85%で、下流に位置するカレタ・ダム(Kaletta)の発電量を乾季に28MWから80MWに上げることが可能。CWE社CEOによるとスワプティ・ダムは2020年9月竣工、2021年1月までに発電機4基が稼働開始予定。

(了)